

オカリナの商品化支援

大野アドバイザーによる支援

八尾中小企業サポートセンターの特許相談会来訪をきっかけに支援開始

特許出願に向けたサポート

- 特許電子図書館を活用した先行技術調査と特許分析の支援
- 特許出願に向けた発明の把握等の支援
- 自社による特許出願の支援

知財戦略に関するサポート

- 強く広い権利取得に向けた出願戦略支援
- 早期審査請求制度活用 の提案

のんぼうのオカリナ工房

特許で新技術・新製品を武装し、競争優位を確保

- 従来のオカリナより1オクターブ以上広い音域を表現できるオカリナの製造方法を開発
- 特許を武器に自社技術の信用力を高めたい！

特許情報活用による成果

自社による特許出願

★特願2008-289399
早期審査を利用し
特許査定 平成21年1月

オカリナの製造方法の開発で差別化技術を獲得！

この支援によって開発・販売された商品

商品名「亜音(あのん)オカリナ」

亜音(あのん)オカリナならアルト C 管の最大の弱点である高音域も、どんな角度でもストレスなくクリアに表現することができます。

その一方で、中・低音域のボリュームも十分に確保し、迫力ある演奏を可能にしました。それが、アルトC管のエル・シリーズとプレリュードです。

支援先企業の概要

- 会社名 のんぼうのオカリナ工房
- 住所 大阪府四條畷市田原台
- ホームページ <http://my2103.com/>
- 代表者 山本 京子
- 設立 2006 年

大野健造(大阪府知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

のんぼうのオカリナ工房は、オカリナの製造販売をしておられます。従来のオカリナは圧力鑄込みで作られていますが、製造過程で気道を確保するものであった為、後で気道や歌口を精密に加工することができないという欠点があり、音域が狭いことが問題でした。

そこで、笛口部外部にある気道溝にヘラ等を使いながら外蓋部材を貼り付けて精度の高い気道や歌口を完成させる従来とは異なるオカリナ製造方式を考案されました。

今回は特許出願、早期審査による権利化を支援し、2ヶ月以内で特許査定を頂きました。今後は、この特許を核にオカリナ事業を立ち上げて頂ければと思っています。



平成21年2月現在

